

1. 基本情報

- (1) 国名：パラグアイ共和国（以下、「パラグアイ」という。）
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：ニェンブク県とミシオネス県に跨る国道20号を中心とした約155kmの道路
- (3) 案件名：西部輸出回廊整備計画
(Project for Western Region Export Corridor Improvement)
- (4) 計画の要約：本計画は、ニェンブク県及びミシオネス県において道路整備等を実施し、パラグアイ国内の連結性の向上、輸出物資の輸送効率の向上等を図り、もってパラグアイの経済の活性化に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

パラグアイには、1936年に日本人移住者の入植が開始し、現在約1万人の日本人移住者・日系人が在住している。これら日本人移住者・日系人のパラグアイ社会における貢献は高い評価を得ており、我が国の経済社会開発での貢献とあいまって、パラグアイは極めて親日的な国の一つである。

本計画は、我が国が整備を支援した東部の輸出回廊に引き続き、西部の輸出回廊の整備を支援することで、パラグアイの輸出競争力を支えるものであり、パラグアイ側からも高い期待が寄せられているところ、二国間関係上も高い外交的意義を有する。

また、2018年、安倍総理（当時）は、今後の中南米諸国との協力方針として「日・中南米連結性強化構想」を提唱したが、本計画は同構想の掲げる中南米地域の経済的連結性の強化にも資する。

- (2) 当該国における運輸セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

パラグアイは、南米の中心部に位置する内陸国で、対外交易は主にパラグアイ川及びパラナ川を利用した河川輸送、隣接国に連絡する道路輸送に依存している。しかし、パラグアイ全土のアスファルト舗装率は10.8%（2020年）で、生産拠点と港や隣接国を繋ぐ道路インフラが脆弱である。輸出の約70%を占める農畜産物の積み出しは、アスンシオン港、エンカルナシオン港に集中しているが、両都市圏においては生活交通と物資輸送とが交じり合い、渋滞が頻発している。加えて、パラグアイ川は継続的な浚渫を要し、乾季は航行困難になるという制約も抱えている。かかる状況に対して、パラグアイ政府は「パラグアイ国家開発計画2030」にて、国際競争力向上のための港湾施設の改良及び陸上輸送の効率性改善を掲げ、輸出回廊構想のもと、主要陸運ルートを国道に指定し、道路整備を進めている。

本計画によって、国内の連結性の向上、都市圏の道路渋滞の緩和が期待される。また、本計画の位置する国道20号線は稲作地帯を通過しており、本計画により低水位時期でも稼働可能なピラール港へのアクセスが改善することで、輸出用のコメの輸送効率の向上も期待される。

3. 計画概要

* 協力準備調査の結果変更されることがあります。

(1) 計画概要

① 計画内容

- ア) 国道 20 号を中心とした道路（片側 1 車線道路、アスファルト舗装、橋梁、河川排水路等を含む）の改良・拡幅（総延長約 155km）
- イ) コンサルティング・サービス（詳細設計、入札補助、施工監理等）

② 期待される開発効果

2 県（人口併せて約 21 万人）にまたがる対象区間道路の平均走行速度 40km/h が改善され、東西を結ぶ都市間の平均所要時間が短縮されることにより、コメの総輸出量の増加（約 860 千トン/2020 年）やパラグアイ国内の物流の円滑化、経済活動の活性化への貢献が期待される。

③ 借入人：パラグアイ共和国

④ 計画実施機関／実施体制：公共事業・通信省

⑤ 運営／維持管理体制：5 件の有償資金協力、1 件の無償資金協力による道路整備事業において、実施機関として運営・維持管理の経験がある。

(2) その他特記事項

- 環境社会配慮 カテゴリ分類：B
- ジェンダー分類：GI（ジェンダー主流化ニーズ調査・分析案件）
- 横断的事項：本計画は気候変動（緩和策）に資する可能性がある。
- 他の援助機関の対応：パラグアイの運輸交通セクターに対し、米州開発銀行（IDB）は、2000 年以降 14 件、累計約 1,523 百万ドルを融資している。ラプラタ河流域開発基金（FONPLATA）やアンデス開発公社（CAF）などの国際機関も道路の舗装を含む運輸改良事業を支援中。

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

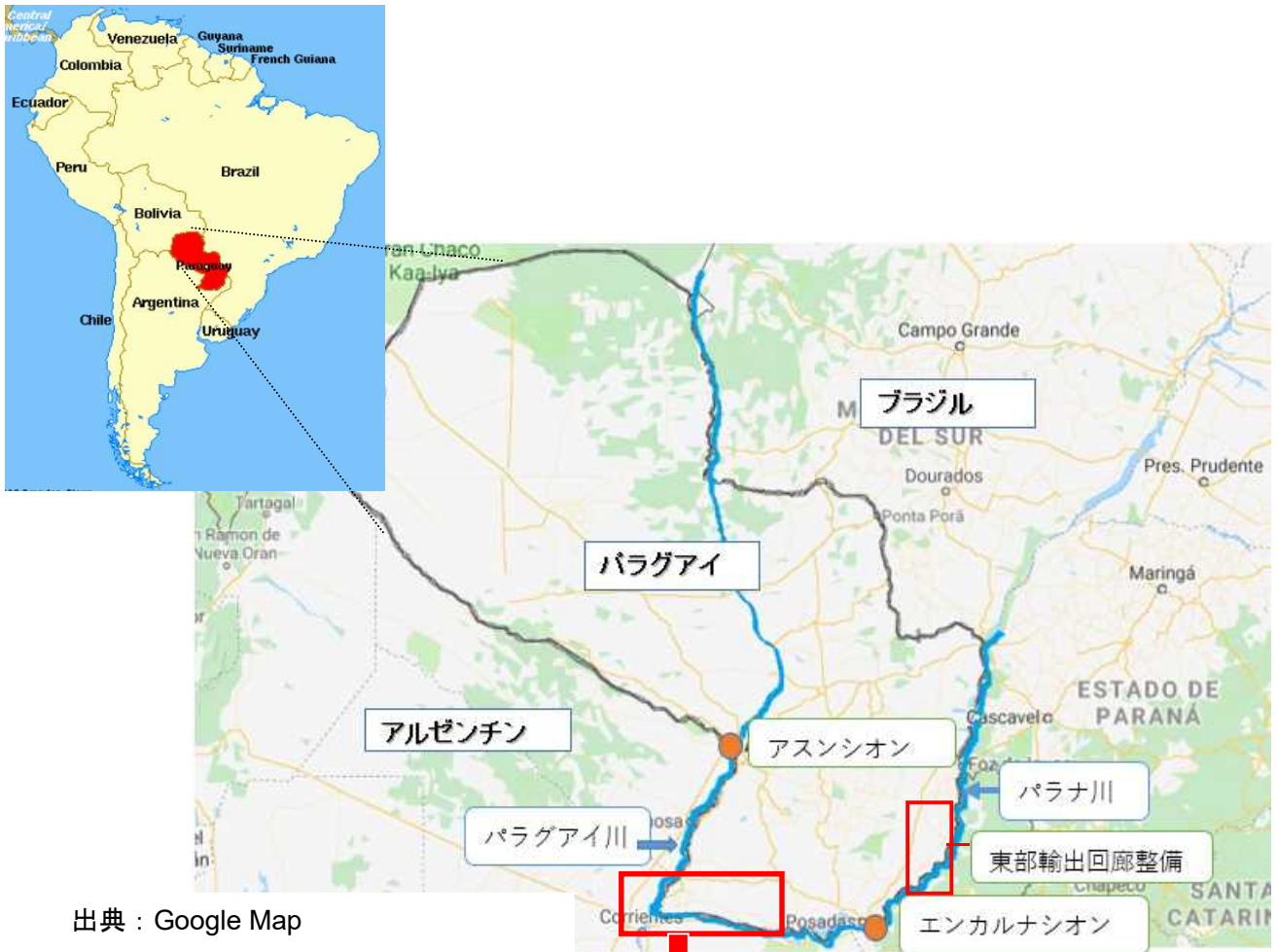
過去のパラグアイ向け有償資金協力「道路整備計画（II）」（評価年度 2012 年）の事後評価等より、道路改良・新設事業において、既存道路からの迂回も含めて過積載車両の通行の可能性及び規制の必要性の検討、降雨が工期に及ぼす影響を十分スケジュールに組み込むことなどの教訓を得ている。加えて、実施中の「東部輸出回廊整備計画」では、運転手側の交通マナーによる死亡交通事故も発生しており、減速喚起の看板設置等を含めた交通安全啓発にも十分配慮する。

以 上

[別添資料] 地図

[別添資料] 写真

[別添資料] 「西部輸出回廊整備計画」 地図



出典：Google Map



出典：公共事業・通信省（MOPC）資料

[別添資料] 「西部輸出回廊整備計画」 写真



イスラウンブ～ラウレレス区間
(出典：MOPC)



ラウレレス～ジャベブル区間 (出典：JICA)